

簡易評価型プロポーザル提案書評価要領
(長岡版オープンイノベーション事業運営支援業務)

1 目的

この要領は、簡易評価型プロポーザル方式により委託事業者を決定する場合における提案書の評価方法について、必要な事項を定めることを目的とする。

2 事業者の選考

- (1) 提案書の評価及び事業者の選考は、選考委員会を設置して行う。
- (2) 選考委員会の委員は別に定め、地方創生推進部イノベーション推進課が庶務を行う。
- (3) 選考委員会は、提案書の提出者かつヒアリング参加者の中から、最も優秀で本市の要求にあった事業者1社を選考する。

3 選考方法

- (1) 提案書の記述が要件を満たしていない者、費用の見積額が予算額をオーバーしている者は失格とする。
- (2) 提案書のヒアリングは、各事業者2人以内、準備・片付け各5分間、提案書に基づいたプレゼンテーション15分間、質疑応答10分間の計35分間で行う。
- (3) 提案書の記述項目、プレゼンテーションの内容及びプレゼンターに関して、選考評価基準を基に各委員が採点する。
- (4) 各委員の評価点数を事業者ごとに集計し、点数の最も高い事業者を最優秀者として決定する。
- (5) 評価点が同点となった場合は、各委員による無記名の選考投票で過半数を超えた事業者を最優秀者として決定する。1回目の投票で過半数を超える事業者がない場合は、最多投票数の事業者と次点の事業者で決選投票を行い、決定する。

4 選考評価基準

評価項目	配点
1 提案書の作り方（情報処理・資料作成能力） <ul style="list-style-type: none"> ・ 理解しやすい表現 ・ 簡潔・平明な文章 ・ 情報やデータの使い方、分析・処理の仕方 ・ 矛盾や飛躍がなく説得力のある論理構成 	10 点
2 提案の内容（提案力・技術力） <ul style="list-style-type: none"> ・ 依頼者の考え方、条件、要望に沿った提案内容 ・ 採用したいと思わせる独創的・画期的な提案 ・ わかりやすく、見やすい構成 ・ ベンチャー企業に対する理解の深さ ・ 課題の適切な把握能力及び技術等に対する知見 ・ ベンチャー企業等とのネットワークの広さ 	60 点
3 説明の仕方（伝達・コミュニケーション能力） <ul style="list-style-type: none"> ・ 丁寧で聞き取りやすい話し方 ・ 要領を得た説明 	10 点
4 その他（的確性など） <ul style="list-style-type: none"> ・ 類似業務の実績 ・ 提案を実行できる体制 ・ 見積金額の妥当性 	20 点
総合評価（得点の合計）	100 点